

「さやま民話風土記」群読 練習風景

もっと明るく・・もっと声を張って・・語尾を下げないで・・ではもう一度初めから・・。
何回もダメ出しされて、練習練習また練習。さねとう先生のご指導を受けながら、皆で、あるいは小人数のグループ、または一人で、太古から現代までの狭山を壮大な叙事詩で表現するのです。

私たち群読の総勢28名。日頃朗読のサークルで鍛えている方は3分の1ほど。あとはほとんどが朗読などやったこともない素人です。公募で参加された方も10人をこえ、年齢も幅広くまさに多士済々です。

練習開始の初日はさねとう先生から、2日目は叙事詩の原作者・今坂先生から、詩の背景や詩の心などを丁寧にお話しいただきました。皆でイメージを確かめながら練習を続けています。

大勢で読み上げる詩には、皆の息と詩の表現が合わないとバラバラになってしまいます。語尾の上げ下げ、トーンでも雰囲気は全く違ってしまいますので、直されるたびに声を張ったり落したり、息を合わせようと周りをうかがったり、皆それぞれに工夫して悪戦苦闘しながら取り組んでいます。

これから本番まで少ない練習期間ですが、企画公演「さやま民話風土記」の成功を左右するかもしれないと、皆で心を合わせて練習しています。

(秋場 記)



----- さやま・文化の息吹 -----

Ciao! ニーハオ! こんにちは! ヒッポファミリークラブです

~多言語で広がる新しい世界~ 言語交流研究所ヒッポファミリークラブ 狭山

「国や人種の違いを越えて、どんなことばを話す人ともコミュニケーションできるようになれば」とそんな思いから1981年にヒッポは生まれました。

「7カ国語で話そう。」をキャッチフレーズに、いろいろなことば(多言語)と人との出会いのある環境を生み出しています。多言語の飛び交う環境のなかで育つ赤ちゃんが、いつのまにか母語としていくつものことばを習得するのと同じプロセスで、家族や仲間たちと一緒に多言語を身につけていきます。0才からシニア世代の人たちまで、日常の活動から世界各国とのホームステイ交流、地域社会でのさまざまなボランティア協力など、積極的に行なっています。

ここ狭山では、「青少年文化体験フェスタ」において、小中学生への体験学習「世界のことばであそぼう」のテーマで参加しています。

英語が苦手でも大丈夫です。多言語の世界を気楽に楽しんでみませんか?

狭山での日常の活動は

水(18:30~20:30) 土(10:00~12:00)

詳しいことは お問合せください。

TEL:04-2955-3057 (市川 弘美)



青少年文化体験フェスタ